

# アクセスマップ ACCESS MAP



- 自動車でお越しの方 JR阿波池田駅から徒歩約15分
- バスでお越しの方 三好病院前下車、徒歩約1分
- お車でお越しの方 徳島自動車道井川池田ICで下車、約3分

- R ●ヘリポート
- 8F ●展望ラウンジ
- 7F ●緩和ケア病棟 ●屋上庭園
- 6F ●一般病棟 ●リハビリ室  
●人工透析室
- 5F ●一般病棟 ●感染症病棟
- 4F ●一般病棟 ●救急病棟
- 3F ●一般病棟
- 2F ●手術部門
- 1F ●放射線科 ●防災センター  
●食堂 ●売店

## 病棟案内

- 管理部門
- 正面玄関 ●受付
- 外来診療科・救急外来

入院棟

外来棟

**徳島県立三好病院**  
Tokushima Prefectural Miyoshi Hospital

〒 778-8503 徳島県三好市池田町シマ815-2

☎ 0883-72-1131 (代表) FAX 0883-72-6910

✉ miyoshibyouin@pref.tokushima.jp

WEB <http://www.miyoshi-hosp.jp>

治療も、仕事も、生活も

# あなたを支える 緩和ケア

Palliative care Brochure



**徳島県立三好病院**  
TOKUSHIMA PREFECTURAL MIYOSHI HOSPITAL

## Topics 01

## 緩和ケアってなあに？

緩和ケアは、生命を脅かす病に関連する問題に直面している患者とその家族のQOLを、痛みやその他の身体的・心理社会的・スピリチュアルな問題を早期に見出し的確に評価を行い対応することで、苦痛を予防し和らげることを通して向上させるアプローチのことです。つまり、患者さんやご家族がより良く生きるためのケアのことを指します。

そのため、緩和ケアには以下の大きな特徴があります。

### ✓ 緩和ケアの特徴その1

がんでなくても  
受けることができる

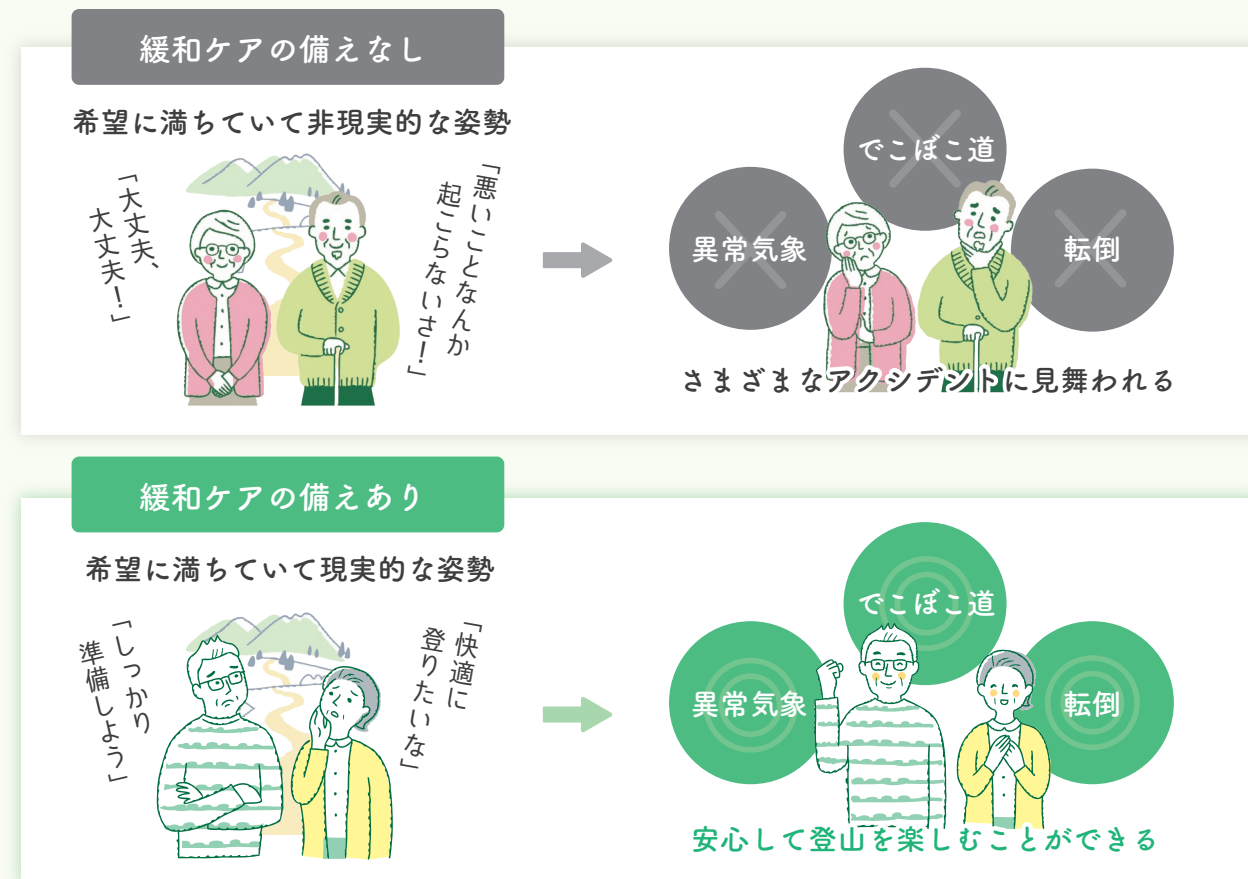
### ✓ 緩和ケアの特徴その2

「末期」でなくても  
受けることができる

## Topics 02

## 緩和ケアという備えがあると安心です

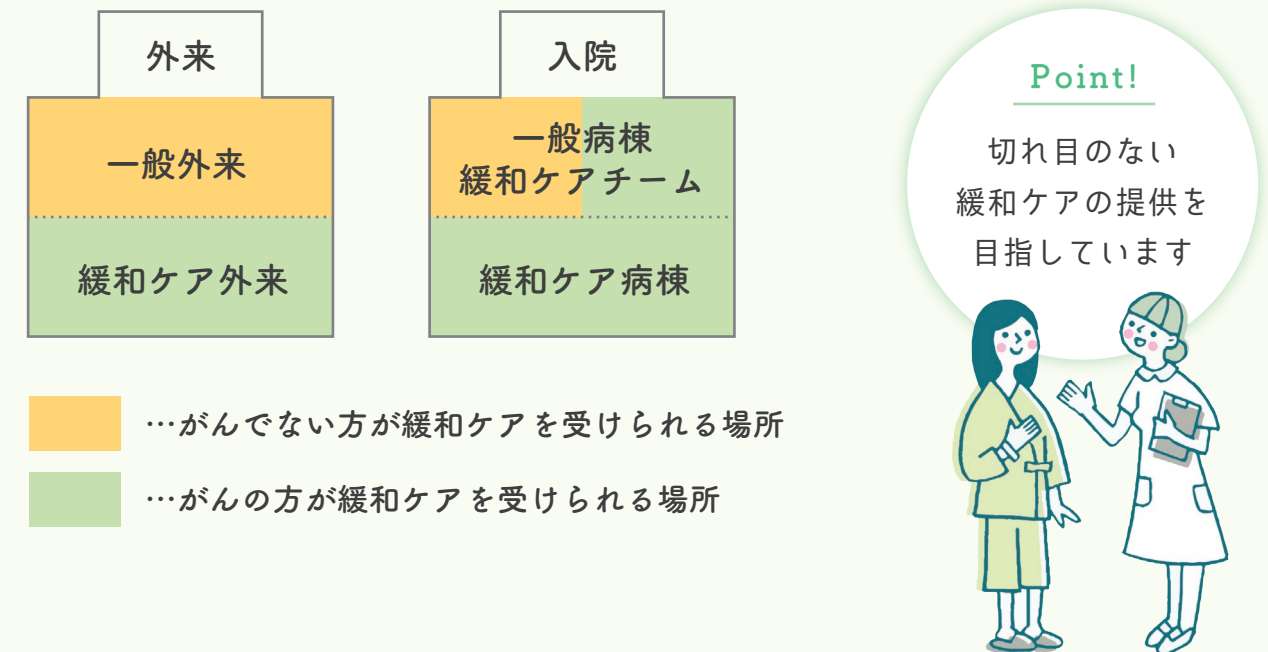
がんやその他の病と診断されてからの道のりを山登りに例えると…



## Topics 03

## 当院の緩和ケア提供体制

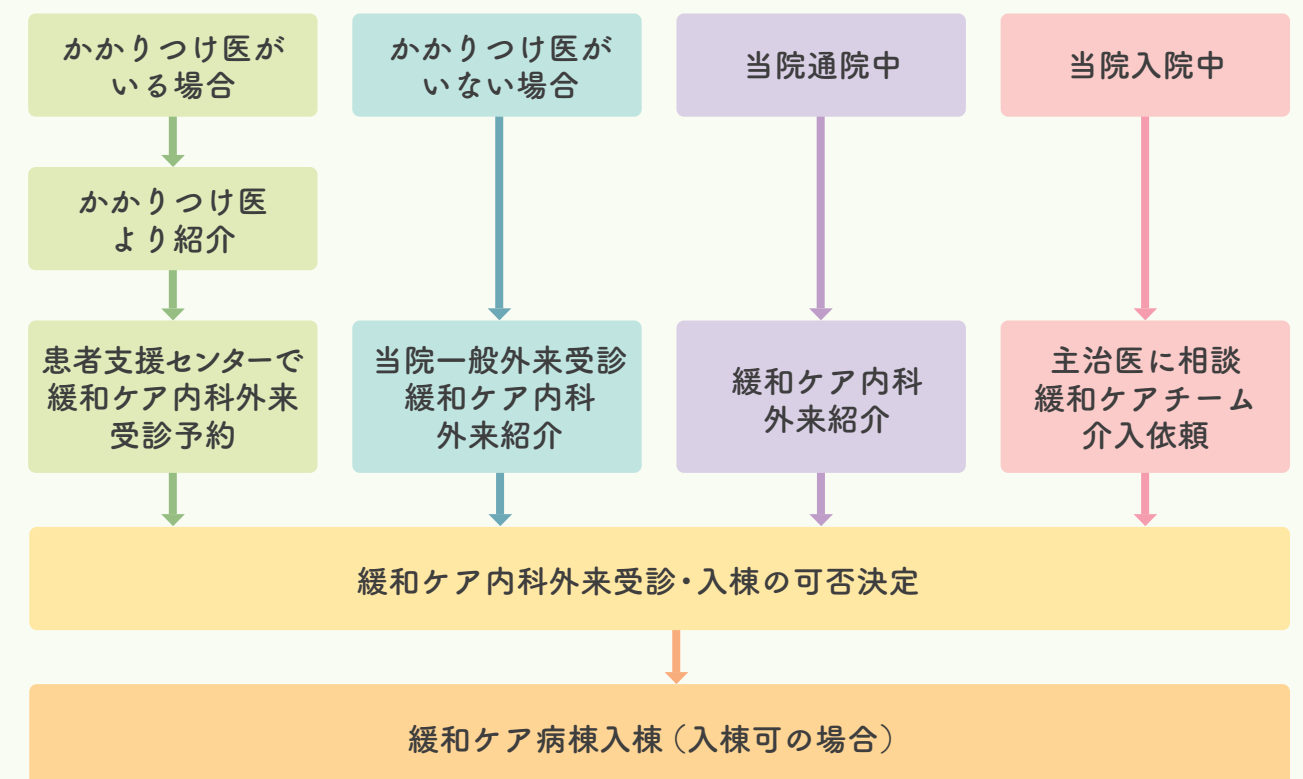
三好病院では、入院中でも外来でも緩和ケアを提供することが可能です。



## Topics 04

## 緩和ケア入棟までの流れ

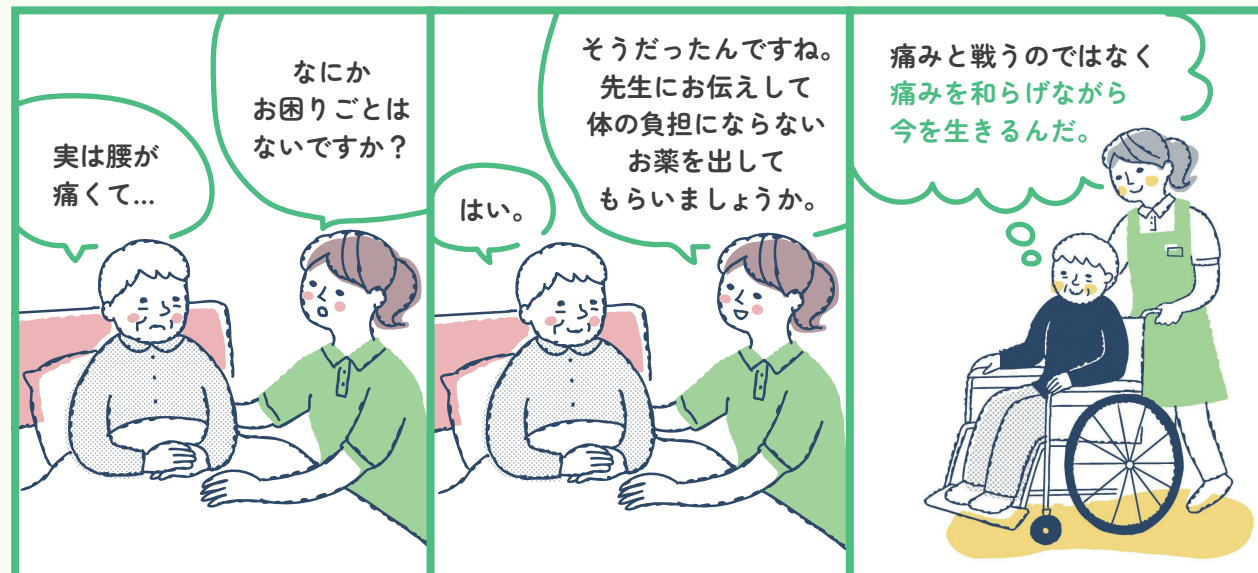
下記の状況に応じて、三好病院緩和ケア内科外来への紹介・受診についてご相談ください。





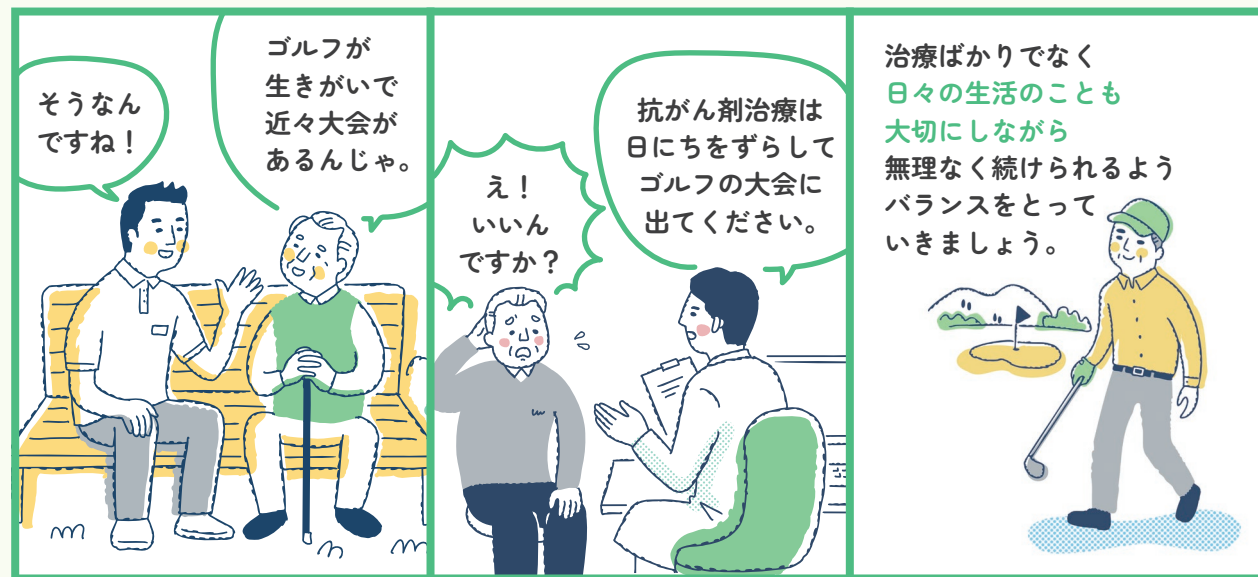
緩和ケアを受けることでどんなメリットがあるのか、漫画でご紹介します。

### メリット 01 「自分らしく過ごすことができる」



緩和ケアの専門的な知識をもつ医師・看護師からのケアを受けることができます。  
がん患者さんに寄り添い、やすらぎを大切にした緩和医療の提供を目指しています。

### メリット 02 「治療に前向きに取り組むことができる」



治療のこと、生活のこと、ご家族のことなど、様々なお気持ちの葛藤があるかと思います。  
三好病院は患者さんの意思を尊重しその人らしく充実した日々が送れるような治療を行います。

困ったことや気がかり、辛い症状がある場合は我慢せずお伝えください。

#### CASE 01 こころのつらさ

- ・気持ちが落ち込んだ状態が続く
- ・すぐイライラしてしまう
- ・なかなか眠れない
- ・何もする気が起きない など

#### CASE 02 身体のつらさ

- ・お腹が痛い
- ・身体がだるい
- ・吐き気がして食欲がなくなる
- ・手足がしびれる など

#### CASE 03 仕事や家計のこと

- ・仕事を続けられるか心配
- ・医療費の負担が大きい
- ・生活に差し障りが生じている
- ・治療方針の選択に悩んでいる など

#### CASE 04 生きがいのこと

- ・家族との団らんをしたい
- ・趣味を続けたい
- ・好きなものを食べたい
- ・やり残したことの心残り など

気持ちを誰かに伝えることで、よりよい治療に繋がります。  
まずはお近くの看護師にご相談ください。



## Q1

三好病院に通っている人しか受けられないのでは？

他院に通院中の方も当院の緩和ケア外来に通院することが可能です。

※がんの患者さんに限る

## Q3

やっぱり末期のイメージが強くて言い出せない。主治医から「緩和ケアの専門の人にも診てもらいましょう」と勧められましたが、もう末期だということでしょうか？

緩和ケアは、辛さを和らげたり、生活の支援をしたりする医療ですので、病気の時期というものには一切関係なく行われるべきものとされています。特に最近では、より早期からの緩和ケアの導入が重要と考えられています。緩和ケアを受けていても症状や治療に応じて入院や退院を繰り返すことが可能です。ご希望のある際はご自宅へ地域の看護師が訪問する仕組みもあります。



## Q2

本人と家族の間で治療や緩和ケアを受けることに関して意見が一致しません。

ご家族の中で意向に相違がみられることはあると思います。十分話し合っご本人やご家族みなさんが納得された上で治療や緩和ケアを受けることができるようにお手伝いさせていただきます。まずはお近くの看護師にご相談ください。

## Q4

緩和ケアチームのサポートを受けていますが、相談したいときはどうすればいいですか？

緩和ケアチームに診てもらっている場合は、主治医・看護師に「緩和ケアチームの人と話がしたい」とお伝えください。主治医・看護師から連絡を受けて対応いたします。

## Q5

医療用麻薬を使用するのは、がんが進行しているからですか？

身体の辛さが強いということと症状が進行しているということは同じではありません。「医療用麻薬」は痛みの強さや質、薬の効き方によって使用するものです。詳しくは医療用麻薬のパンフレットをご参照ください。

## Q6

患者の家族も、看護師さんに悩みや思いを話してもいいのでしょうか？

患者さんだけでなく、ご家族も大切な方ががんやそのほかの病になったことで、さまざまな思いを抱えておられることと思います。緩和ケアでは、ご家族も支援を受ける対象となります。心身ともに疲れ果ててしまう前に安心できる誰かに相談することで、幾分かお気持ちが楽になることがあると思います。

## Q8

病名を知らない方は緩和ケア病棟に入院できますか？

患者さんご本人が自分の病気をしっかり受け止めたうえで緩和ケアを希望されていることが重要です。患者さんが必要としていること、知りたいことについては原則として真実を伝える方針です。ただし、病名を理解できない方や病名そのものは知らなくても、不治の病であり積極的な治療を行わないことをご本人が納得されている場合は入院をお受けすることもありますのでご相談ください。



## Q7

まだ抗がん治療を行っています。緩和ケアを受けることはできますか？

もちろんできます。緩和ケアはがんになった時から、必要だと思われた時からいつでも受けることができます。

## Q9

家族は緩和ケア病棟への入院を希望していますが、本人は嫌がっています。

緩和ケア病棟では、ご本人のご希望を尊重する方向で緩和ケアを行っています。患者さんご本人が、緩和ケア病棟での入院生活をご希望されていることが必要です。積極的な治療を行わないことを納得していただいていない場合は、緩和ケア病棟での療養はご本人やご家族にとって辛い時間となる可能性が高いため、入院はお受けいたしません。

## Q9

緩和ケア病棟では治療は全く受けることができなくなるのですか？

原則として延命治療やがんそのものに対する治療（手術、抗がん剤、放射線など）は行いません。緩和ケア病棟ではご本人が苦痛となる症状を取り除いていくことが治療となります。